

常磐地区 まちなみ景観づくり 取組みのご紹介

～ 魅力ある街並み空間整備にむけて ～

いわき市 都市計画課



『まちなみづくりサポートブック(素案)』ダウンロードはこちら





- 1 「景観」の力について
- 2 「景観」の力をまちなみづくりにどう活用するか
(現在の取組み状況のご紹介)



「景観」の力とは...



Q 景観とはなんでしょう...？

A 人の目に見えるもの（景色や風景など）に、それを見る人の印象や評価が加わったもの。



すてきなまちなみを見るとウキウキしたりワクワクしたりするね

景観には、人の心に働きかける力があります

湯本駅前の地区全体の「魅力・活力（稼ぐ力）」を押し上げていくために、ぜひ景観の力をうまく活用していきたいと考えています！



「景観」の力をまちなみづくりにどう活用するか



まちなみづくり検討会（全5回／R5年6～9月）



3つのステップで、湯本のまちなみづくりの方向性を話し合いました

- ① 湯本らしさとは？
- ② 湯本らしさを活かしたまちなみイメージ（景観）とは？
- ③ まちなみイメージ（景観）を実現するための工夫は？

『まちなみづくりサポートブック(素案)』を作成（R5年9月）



検討会で出たアイデアを『サポートブック（素案）』にとりまとめました。

- ① 湯本らしさは温泉感／フラ感／歴史感
- ② 湯本らしさを活かしたエリアごとのまちなみイメージを作成
- ③ 普段からできるちょっとした工夫＋リノベーション時の工夫

行政はサポートブックを参考にしながら、公共空間のまちなみづくりを進めます
事業者／住民の皆さんもぜひまちなみづくりにご参加ください！



まちなみづくりサポートブック(素案) のご紹介



①湯本らしさとは？

ちなみづくりサポートブック 8ページ

地域WSでの
意見や
アイデア

3つの
キーポイントの
組合せ

湯本駅前周辺地区

- ・駅前でフライベント
- ・フラミュージック、アロハシャツ
- ・異国情緒を感じる植物
- ・駅前からみゆき山に続く温泉水路
- ・駅から出たら温泉の香り

温泉感

フラ感

歴史感

温泉街地区

- ・歴史的な建物、古建築
- ・文人墨客にまつわる歴史
- ・温泉や炭坑にかかるモニュメント
- ・浴衣や下駄をはいた観光客
- ・湯けむり、硫黄の香り

温泉感

歴史感

フラ感



② 湯本らしさを活かしたまちなみイメージ(景観)とは？

ちなみづくりサポートブック 10～18ページ

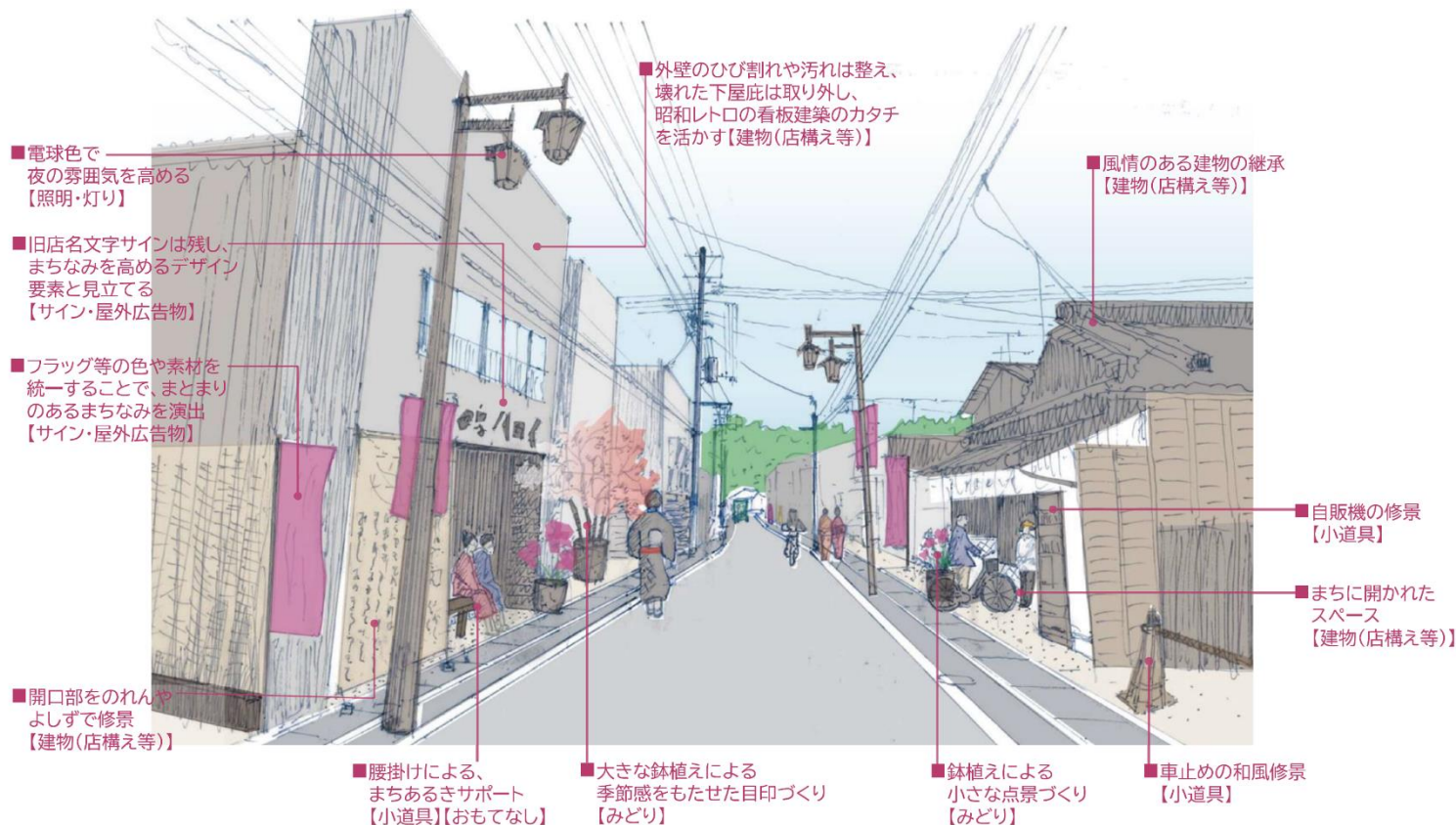
2 いわき湯本温泉の目指す姿

② 温泉街周辺のまちなみづくり 上町通り付近

平方面に対し上方にあたる上町通り付近は、かつては歴史息づくまちなみでした。

新たなまちなみづくりにおいても、温泉神社付近の新たな拠点とほたる等をつなぐ大切な回遊路です。

歴史風情や質感に配慮しつつも、無理のない範囲で工夫やアイデアを組合せてみましょう。





まちなみづくりサポートブック(素案)のご紹介



③ まちなみイメージ(景観)を実現するための工夫は？

ちなみづくりサポートブック 19～31ページ

3 まちなみのつくり方

“建物(店構え等)”の工夫・アイデア

◆建物の特徴を活かす



- ▶ 湯本には看板建築と言われる昭和レトロな建築様式が数多く残されていることから、**往時の建築の骨格は残し、まちに開く1階スペースの設えを変え**ると、居心地が良くなる、特徴的な店構えやまちなみをつくることができます。

◆足を止めてもらうひと工夫



- ▶ **ガラス張り**で店内を見せることで、立ち寄りたくなる店構えをつくることもできます。
- ▶ あえての**れん**で隠すような工夫も効果的。
- ▶ 店先で使う看板やのれんは、**落ち着いた色を主体として、ワンポイントでアクセントカラー**を入れると、まちに馴染みつつ、魅せたい場所を強調することもできます。

◆側面にも気を配る



- ▶ **側面の店構え**をつくりこむことは、空洞化対策だけでなく、“映え”にもつながります。
- ▶ 鏝張り羽目板などの古くから残る建築様式は効果的です。

◆素材にも気を配る



- ▶ ビニール製、トタン、金物など、**時が経つと劣化する素材**ではなく、**瓦、木材、石材**といった、**時を重ねる(エージング)**と共に味がでてくる素材を効果的に使ってみましょう。

◆色の黄金比を使おう



- ▶ 建物の大部分を占める場所には、**落ち着いたアースカラー**を、ワンポイントで個性を出す**アクセントカラー**を取り入れるのが色使いの方程式です。
- ▶ まちに調和しつつ、魅せたいところに注力した店構えにしましょう。

◆使いこなし方で特色を出してみよう



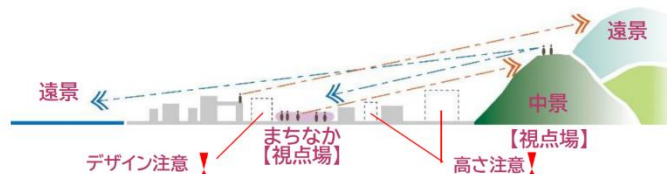
- ▶ 居心地の良いまちなみづくりには、1階スペースの使い方が重要です。
- ▶ **立て看板、ベンチ、植栽**等の置き方だけで、より豊かな居場所をつくりだすことができます。



- ▶ 路地のような幅が狭い空間では、**庇の張り出しとカウンターを組み合わせ**ると、お祭りの出店のような雰囲気をもった、小さくても活気のある賑わいがつくれます。

◆魅力的な眺めや景観をみんなで守ろう

- ▶ いわき湯本温泉には、市街地を見渡することができるビュースポット、通りからみえるお寺、社寺林の紅葉、丘陵斜面のみどりなど、魅力的な景観があります。
- ▶ **新しい建物を建てる際は、ビュースポットからの眺め等に十分検討**してみましょう。あなたの建物が、魅力的な眺めを引きだせることもあれば、気づかぬうちに障害になる可能性があるかも。(⇒参考資料「いわき湯本温泉の視点場と視対象」)



▲いわき湯本温泉のまちなみ眺望／視線確保のためのイメージ図



③ まちなみイメージ(景観)を実現するための工夫は？

ちなみづくりサポートブック 19～31ページ

3 まちなみのつくり方

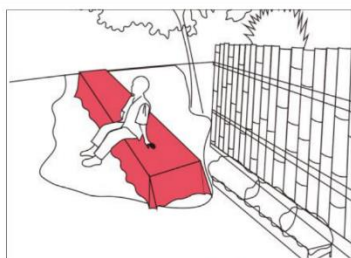
[3-4] “小道具”の考え方

小さなところから創造してみよう

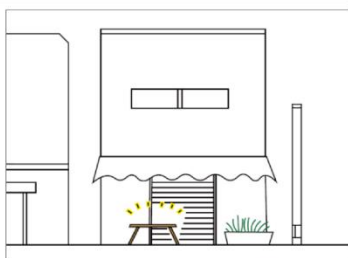
普段まちなかでよく見かけるちょっとしたベンチなどの**小道具**も、**使い方によってはまちを一新する力を秘めています**。思い描いているビジョンやマイプレイスを具体的に想像しながら、どんな小道具を使えば良いか考えてみましょう。

“小道具”の工夫・アイデア

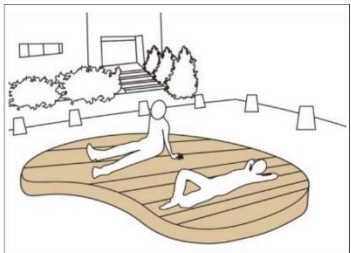
◆ベンチ・テーブル



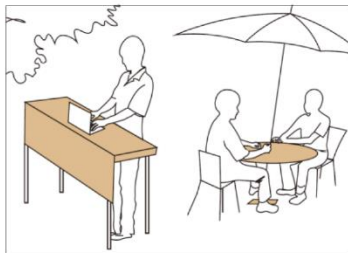
- ▶ ポケットパークなどには**木陰でゆっくりできる腰掛け**を設置してみましょう。
- ▶ **アクセントカラー**で椅子の色を揃えるだけで、一体感が生まれます。



- ▶ シャッターが閉まっていても、**店先にベンチやプランター**があるだけで、まちの寄り合いスペースに様変わりします。

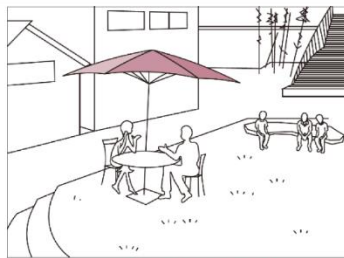


- ▶ 湯本の空を眺めながらお話ししたい。ハンモックも良いけど、**縁台ベンチ**なら並んで語らうこともできます。

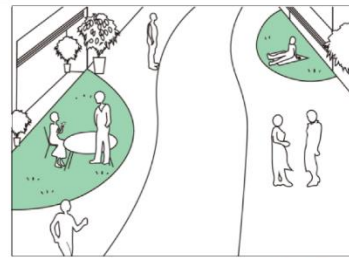


- ▶ **パラソルの下にテーブル**を置くと、長話できます。
- ▶ 隙間時間に少し仕事したい時は、**スタンドタイプの机**がおすすめです。

◆オーニング・敷物



- ▶ パラソルは**彩度を落とした差し色**を使うことで、派手な印象を与えず、閉じていても悪目立ちしなくなります。

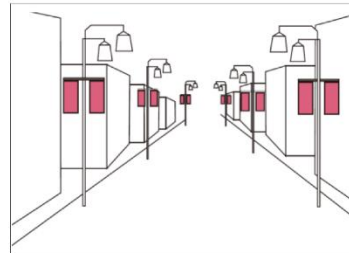


- ▶ 普段通っているいつもの道に、**人工芝のマット**を軒先に広げるだけで、立派な滞留空間に変身します。

◆のれん・のぼり



- ▶ 幅広ののれんは、見せたくないものを隠しつつ、整然とした店構えに変えられる便利なアイテムです。



- ▶ 照明灯に設置するフラッグは、**通り全体で同じ高さ、同じ場所**にかけると、引き締まった印象にできます。
- ▶ ワンポイントのアクセントカラーなら、より魅力的になります。



③ まちなみイメージ(景観)を実現するための工夫は？

ちなみづくりサポートブック 19～31ページ

3 まちなみのつくり方

“照明・灯り”の工夫・アイデア

◆安心して歩けるまちに



- ▶ 頭上から照らす灯りと、足元にも配慮した灯りを使い分けて、安心して歩ける沿道空間にしましょう。
- ▶ 直接光を照らすのではなく、屋根や壁に反射させることで、まぶしさを抑えた柔かい光のある雰囲気演出できます。

◆誘うような照明



- ▶ ゆっくり散策して欲しい場所には、照度を抑えた照明を道するべ的に配置することで、通りとして強調しつつ、“映える”演出ができます。
- ▶ 水路を間接照明で照らすことで、水路が続く方向に歩いてみたくなります。
- ▶ ベンチ等の足元を間接照明で照らすと、夜のまちの小さなたまり場になります。

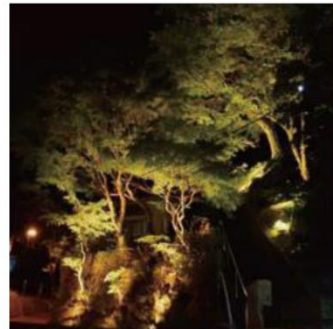


◆店先を演出しよう



- ▶ 提灯は店先にフンポイントで入れることで、人の気配を感じさせる演出ができます。
- ▶ のれんを照らすことで、まちに溶け込むような柔らかな灯りを演出できます。

◆主役の魅力をスポットライトで際立たせよう



- ▶ 樹木を真下から照らし、浮かび上がるような演出を行うことで、自然でやさしいあたたかみのある雰囲気をつくれます。
- ▶ 下から照らすポイント照明は、モニュメントとも相性が良く、印象深い景観を演出します。
- ▶ 湯けむりへのライトアップは、温泉街らしさが一層高まる表情を生み出すことができます。



「景観」を活用したまちなみづくりにご参加ください



- ・「まちなみづくりサポートブック（素案）」はまだたたき台
→ 地元の皆さまからアドバイスをいただきながらブラッシュアップ
- ・まちなみ景観づくりについては、今後もワークショップ等を開催予定
→ 取組み方のより具体的な話合い、工夫を実践した時の効果を見ていく

皆さまが取り組んでくださる工夫 → 積み重なって湯本全体の力へ
事業者／住民の皆さんもぜひまちなみづくりにご参加ください！



『まちなみづくりサポートブック(素案)』ダウンロードはこちら

